

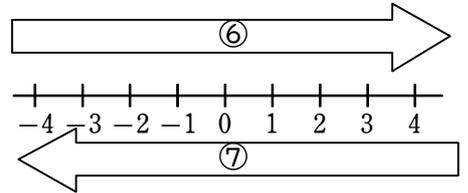
第1章 正負の数 確認プリントNo1

()組()番 名前()

(1) 次の①から に当てはまることばを答えなさい。

気温では0℃を基準にしてそれより低い温度を-を用いて表し、それより高い温度を+を用いて表す。+を(①)、-を(②)といい、+のついた数を(③)、-のついた数を(④)という。

-のついた数も含めた数直線は右図のように表すことができ、数直線上で0が対応している点を(⑤)という。数直線上での右方向を(⑥)、左方向を



(⑦) といい、(⑥) の方向にある数ほど(⑧) 数になる。

(2) 次の数について次の問いに答えなさい。

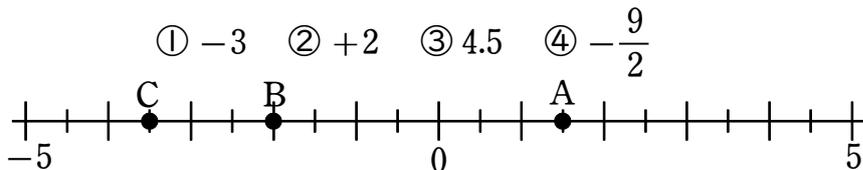
$$+3, -7, 0, +0.2, \frac{3}{4}, -\frac{1}{3}, -0.8, 1, +7, -0.75$$

- ①負の数をすべて答えなさい。
- ②自然数をすべて答えなさい。
- ③絶対値が等しい数の組みを答えなさい。

(3) 次の数の大小を不等号を使って表しなさい。

$$\textcircled{1} -4, -7 \quad \textcircled{2} 6, -3, 0 \quad \textcircled{3} -0.4, -\frac{3}{5}$$

(4) 下の数直線上で点A, B, Cに対応する点を答えなさい。また次の数に対応する点を下の数直線にしるしなさい。しるすときは、どの点に対応するかがわかるように答えなさい。



(1)	①	正の符号	②	負の符号	③	正の数	④	負の数
	⑤	原点	⑥	正の方向	⑦	負の方向	⑧	大きい
(2)	①	$-7, -\frac{1}{3}, -0.8, -0.75$	②	$+3, 1, +7$	③	$+7$ と -7 , $\frac{3}{4}$ と -0.75		
(3)	①	$-7 < -4$ ($-4 > -7$ も可)	②	$-3 < 0 < 6$ ($6 > 0 > -3$ も可)	③	$-0.6 < -0.4$ ($-0.4 > -0.6$ も可)		
(4)	A	+1.5	B	-2	C	-3.5		

第1章 正負の数 確認プリントNo2

()組()番 名前()

(1) 次の①から④に当てはまることばを答えなさい。

足し算のことを (①) といい、引き算のことを (②) という。

$O + \Delta = \Delta + O$ のように、加える数と加えられる数を入れかえても和は変わらない。この法則を加法の (③) という。また、 $(O + \Delta) + \square = O + (\Delta + \square)$ と計算をどの部分から始めても良い。この法則を加法の (④) という。

(2) 次の計算をしなさい。

- ① $(-7) + (-5)$ ② $(+2) + (-9)$ ③ $(+3) + (-1)$
 ④ $(+3.6) + (-2.4)$ ⑤ $\left(-\frac{3}{4}\right) + \left(+\frac{5}{6}\right)$ ⑥ $(+7) - (+8)$
 ⑦ $(-9) - (+3)$ ⑧ $(-4) - (-1)$ ⑨ $(-0.5) - (+4.5)$
 ⑩ $\left(-\frac{5}{4}\right) - \left(-\frac{6}{7}\right)$ ⑪ $0 + (-8)$ ⑫ $(-6) - (+6)$

(3) 次の計算をしなさい。

- ① $(+7) + (-3) + (+3) + (-6)$ ② $(+16) + (-37) + (+24) + (-13)$

(4) 次の式の項を答えなさい。

- ① $-6 + 2 - 7$ ② $2 + 8 - 6$

(5) 次の式を計算しなさい。

- ① $2 - 5$ ② $-4 + 8$ ③ $-3 + 15 - 4$ ④ $-14 + (-4) + 6 - (-9)$

(1)	①	加法			②	減法		
	③	交換法則			④	結合法則		
(2)	①	-12	②	-7	③	+2	④	1.2
	⑤	$+\frac{1}{12}$	⑥	+1	⑦	-12	⑧	-3
	⑨	-5	⑩	$-\frac{11}{28}$	⑪	-8	⑫	-12
(3)	①	+1			②	-10		
(4)	①	-11			②	4		
(5)	①	-3	②	4	③	8	④	-21